

第13回日本家族性大腸腺腫症研究会

—市民公開講座/ AMED武藤班共催—

家族性大腸腺腫症に対する時代に伴う診療の変遷



家族性大腸腺腫症における診療ガイドラインの見直しや、多施設共同臨床研究の取り組み等、セカンドジェネレーションへの架け橋となるために時代に伴う診療の変遷について学ぶ機会にと企画しました。

日時

2025年10月3日（金曜）

15:30- 17:30

現地& Zoomのハイブリット形式

参加方法

- ・現地参加：がん研有明病院 吉田講堂（定員90名）
- ・Zoomウェビナー（後日URLコードをお送りします）

申込方法

事前参加登録，参加費無料

【右のQRコードから申込フォームをご確認ください】

申込締切 2025年9月25日



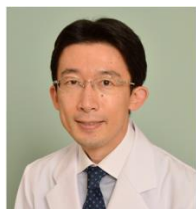
レクチャー内容



山口 達郎 先生

がん・感染症センター 都立駒込病院 遺伝子診療科

腺腫性ポリポースिसにおける遺伝学的検査の重要性



山口 智弘 先生

がん研有明病院 大腸外科 副部長

身体への負担が少ない腹腔鏡・ロボット手術と術後の生活



石川 秀樹 先生

京都府立医科大学 分子標的予防医学

日本遺伝性腫瘍学会 副理事長/ 石川消化器内科

内視鏡的大腸ポリープ切除/ 低容量アスピリンの研究と展望



中島 健 先生

大阪国際がんセンター 遺伝子診療部 遺伝性腫瘍診療科

家族性大腸腺腫症（FAP）の遺伝カウンセリングで伝えたいこと

■ 班代表・会長：京都府立医科大学 武藤 倫弘・がん研有明病院 千野 晶子